

平成 21 年度農林水産省総合食料局食糧部委託

多様な流通における米の取引動向調査 (年次報告書)

平成 2 2 年 2 月

株式会社インテージ

【目次】

I 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査体系	1
3. 調査時期	1
4. 調査実施機関	1
II 米の取引動向	2
1. 生産者等の取引動向.....	4
(1) 調査手法等	4
(2) 産地・品種・価格帯	5
(3) 販売方法.....	6
2. 米穀取扱業者の取引動向	10
(1) 調査手法等	10
(2) 産地・品種・価格帯	13
(3) 販売方法.....	15
3. 小売業者の販売価格.....	19
(1) 調査手法等	19
(2) 販売価格.....	19
4. 外食・中食事業者の取引動向	22
(1) 調査手法等	22
(2) 産地・品種・価格帯	25
(3) 仕入方法.....	27
III 米の消費・販売動向	30
1. 事業者等の販売・仕入動向.....	32
(1) 生産者等.....	32
(2) 米穀取扱業者.....	33
(3) 外食・中食事業者.....	36
2. 一般消費者の動向	38
(1) 米消費の変化.....	42
(2) 食生活の志向・行動の変化	53
3. 米消費の消費動向とその変動要因	75

Ⅰ 調査概要

1. 調査目的

米の流通については、計画流通制度が廃止され、流通規制が大幅に緩和された中であって、これまで流通の主体となっていた全国出荷団体の取り扱いシェアが低下する一方で、生産者直販等の全国出荷団体を經由しない取引が増加しているところである。

このため、本事業は、生産者直販等を含めた米の生産から消費に至る多様化している流通段階ごとの取引価格等の実態を的確に把握するとともに、効率的に把握するための調査手法を確立することを目的とする。

2. 調査体系

本事業では、前年度と同様、生産者等、米穀取扱業者、小売業者、外食・中食事業者における米の販売・仕入動向、販売・仕入価格等について調査を行っている。

今年度は、食料品全体の消費動向を踏まえながら、米の消費動向についてより多角的に状況を把握するため、上記調査に加え、一般消費者に対する調査を実施している。

3. 調査時期

平成 21 年 12 月 9 日～平成 22 年 2 月 28 日

4. 調査実施機関

株式会社インテージ